



# 進路だより



令和7年12月1日発行  
進路だより 第7号  
茨城県立結城特別支援学校  
進路指導グループ

## 中学部で進路週間が行われました。

11月20日（木）～11月27日（木）までの5日間で、中学部で進路週間が実施されました。この5日間は、一日をとおして作業学習を行い、『働くこと』について特化して学習しました。今回の進路週間を機会に、中学部卒業後の進路や将来どのような仕事に就きたいかなど、ご家庭でお話をしていただけすると嬉しいです。

また、進路週間に向けた事前ガイダンスの授業では、高等部普通科2年の先輩たちが講師として招かれ、『働くために必要な力』というテーマで、自分が実習等を経験した中で必要だと思う力を紹介する活動を行いました。先輩たちの生の声に真剣に耳を傾けたり、メモをとったりする中学生の様子が多く見られ、有意義な時間となりました。



### 【手工芸班】

コースターやストラップなどのビーズ作品の製作を行いました。



### 【農園芸班】

野菜の収穫、畑の手入れ、除草、水やりなどの農作業を行いました。



### 【木工班】

スパイスラックなどの木工作品の製作等を行いました。

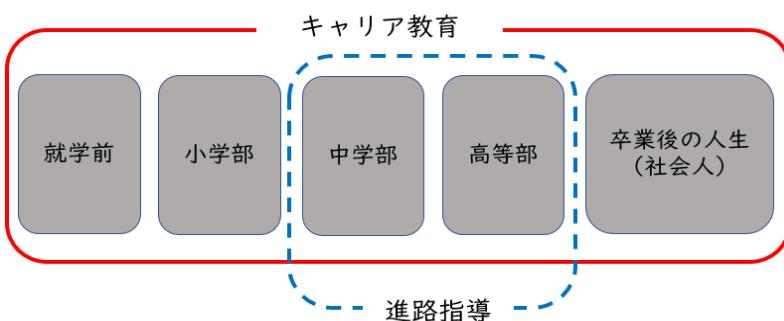
### 【進路ガイダンス】

高等部2年生から『働くために必要な力』を聞きました。



## 中学部での進路指導とは

### ～キャリア教育と進路指導のちがい～



⇒ 裏面につづきます。

## キャリア教育とは

人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分との関係を見いだしていく繋がりや積み重ねが、「キャリア」であり、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育が「キャリア教育」です。

## 進路指導とは

これまでの経験を通じて、生徒自ら将来の進路の選択や計画をし、就職または進学して、さらにその後の生活によりよく適応し、進歩する能力を伸長するように、教師が組織的、継続的に援助する過程であります。つまり重要なのは、教師が児童・生徒の進路を決めるのではなくて、『進路の決め方・選び方を指導する』というところがポイントであり、進路指導は、本人（生徒・保護者）が中心であることが重要となります。



## 中学部で進路指導をすすめるにあたり

- 面談等で進路に関する悩みや思いなどをお話しする機会があると思います。ぜひ担任の先生にお子様や保護者の方の就労・生活イメージを伝えてみてください。
  - 本人・保護者・担任が卒業後のイメージを共有し、方向性が定まることで、きっと進路指導がスムーズに進んでいくと思います。
- 
- 中学部に在学中から少しずつでよいので、自宅の近隣にどのような福祉施設があるのか、情報収集をしてみてください。調べる際のポイントは以下のとおりです。
    - その施設では、どのような就労サービスを行っているのか。
    - 作業の内容、施設内の雰囲気、従業員・利用者さんの雰囲気など
  - 同じ就労サービスを提供していても、施設によって行っている作業内容も異なります。また、黙々と軽作業をメインに行う施設もあれば、利用者さんの実態に応じて無理のない範囲で作業に取り組んでいる施設もあります。
  - ぜひ、お子さまが将来、どのような環境で働きたいのかを家族で話し合っていただき、そのニーズに合った福祉施設をみつけていただければと思います。



## 新しい福祉施設のご紹介

学校に開所のご案内をいただきました事業所をご紹介します

サービス	施設名	所在地	電話番号
就労継続支援 B型	やまびこ作業所	茨城県筑西市下中山 1149	0296-48-9921
共同生活援助（グループホーム）	やまびこ園		

（提供するサービスと施設名、連絡先のみとさせていただきます）

この他にも、いろいろな福祉施設からパンフレットやイベント情報等のお知らせがきています。ぜひ、学校にお立ち寄りの際には、正面玄関付近に掲示してありますので、パンフレット等をご自由にお持ち帰りください。